

葦名氏と穴沢氏を支えた 桧原金山



桧原城



戸山城

会津領内には、会津若松市内の金堀金山、面川・石村金山、裏磐梯・北塩原村の桧原金山がありました。桧原金山は、桧原湖北岸に位置し、伊達領に近かったことから、度々攻められます。砂金は今でも採れます。裏磐梯には、葦名氏家臣の穴沢氏が日本一高い大規模な城として、標高1036mの頂上に、永禄7年(1564)築いた南北約400m東西約150mの大規模な戸山城があります。また露天堀りされた桧原金山、伊達政宗が天正13年(1585)に築いた南北約300mの桧原城跡があります。

